

マリンビジョン21

ー北海道開発局長から認定証ー

積丹町地域がモデル地域に！

7月22日、札幌市内のホテルで開催された北海道マリンビジョン（以下MV）21促進期成会総会で、積丹地域が北海道MV21モデル地域に認定され、岡部北海道開発局長から松井町長へ認定証が交付されました。

新たなモデル地域の選定は、昨年の北海道MV21の改定に合わせて、直轄漁港のあ



▲岡部道開発局長から認定証を受取る松井町長

る全道の市町村が漁港を介した様々なまちづくりへの取組を支援する制度です。モデル地域は「先駆性や独創性が認められ他地域のモデルとして見込める地域」と位置付けられており、当町は磯焼け対策として、地元漁業者やボランティアダイバーとの協働での取組、日本たばこ産業㈱との『J.Tの森積丹』の森林保全活動などが、北海道MV21を具現化する取組としてふさわしい地域として今回、モデル地域の評価を得ました。

この認定により、当町の基幹産業間の連携した様々な活動の熟度に応じた支援や、町内の直轄漁港（美国・余別）の今後の整備に対する国の強力な支援を受けることが出来るようになることが期待されます。

「森・川・海のつながりと恵みを学ぶ夏の日帰りバスツアー」

ー生物多様性を学ぶツアーに札幌圏から60名が来町ー

「森・川・海」の循環を町の活性化資源に！

8月12日、初の試みとなる「森・川・海のつながりと恵みを学ぶ夏の日帰りバスツアー」が後志地域生物多様性協議会（構成15町村・2民間団体・事務局黒松内町）の企画で行われ、札幌圏などから60名が来町しました。

ツアーの参加者は、サクラマスサンクチュアリーセン



▲河村環境生態系保全技術指導員が参加者へ森・川・海の繋がりについて説明

ターで河村博環境生態系保全技術指導員の説明を受けながら森・川・海の繋がりについて学び、神威岬にあるカムイ番屋でウニを中心とした昼食を楽しんだ後、水中展望船に乗船し、神哲治美国・美しい海づくり協議会長から積丹町の磯焼け対策についての説明を受けました。

同協議会は、平成24年4月に後志管内の市町村が連携して、森・川・海のつながりなど健全な生物多様性の保全とその活用を広域的に進めることを目的に設立され、同会の今回の現地見学バスツアーは、「森・川・海のつながり」をテーマとした先駆的な取組を進めている積丹町が選ばれ、実施されました。

観光で幾度も町を訪れたところがある参加者からは「海岸景観とは違う観点から改めて『積丹の魅力』を感じました」と、近年関心が高まっている『エコツアー』や『環境教育』、『体験観光』などの新たな拠点として、積丹町の恵まれた自然が期待されるツアーとなりました。



▲水中展望船で磯焼け対策を学ぶ参加者

道警本部交通部長から

町内4団体へ感謝状！

！交通事故死ゼロ5千日に高い評価！

今年の4月25日に達成した、当町の「交通事故死ゼロ5千日」に大きく貢献したとして、町交通安全運動推進委員会（会長松井町長）、町交通安全協会（的場無縫会長）、町交通安全指導員会（的場無縫会長）、町商工

会女性部（葛西幸子部長）の町内4団体に北海道警察本部警視正の藤井交通部長より感謝状が贈呈されました。

受賞団体を代表して松井町長が「関係団体や町民の皆さんに深く感謝したい。平成12年8月



（前列左より）葛西幸子町商工会女性部会長、松井町交通安全運動推進委員長
川井順應町交通安全協会副会長、（後列左より）藤井祐昭北海道警察本部交通部長
的場無縫町交通安全指導員会長、青山卓生余市警察署長



から約14年間、身近な町民運動として続けてきた交通安全運動が高く評価され、光栄に思います。」と謝辞を述べ、また藤井道警交通部長は「この交通事故死ゼロの記録は町民の皆さん一人ひとりの交通安全意識が結実した賜、心から敬意を表します。」とあいさつされました。

受賞団体の皆さんは、感謝状を手に交通安全運動の更なる推進と、「交通事故死ゼロの日」記録更新へ気持ちを新たにしていました。

贈呈式終了後には、美国市街地で『旗の波』街頭啓発が実施され、北海道警察と各団体の皆さんがドライバーへ安全運転を呼びかけました。

日降水量 133mm アメダス記録史上第5位 連続した大雨が町を襲う！

7月・8月、町は連続した大雨に見舞われました。

7月26日・27日の2日間に美国町に設置されたアメダス記録は224mm、26日が記録史上第5位となる133mmの日降水量を記録し、水道水の供給に影響はなかったものの、町内2カ所（ウエント川・伊佐内川）の簡易水道取水施設が破損する被害がありました。

また、8月5日未明にかけては、集中した大雨により河川が増水し、美国川では氾濫の恐れが高まったことから、5日午前7時に避難準備情報を柳町・東浦・栄町地区に発令したほか、婦美地区の積丹川でも氾濫の危険が高まり、更には野塚町国道で冠水などが発生し、消防団員、消防職員が出動して水防活動に当たりました。今回、幸いにも人的被害や住家等への大きな影響はありませんでした。

これから秋にかけては、大



▲野塚地区などが冠水

雨が降りやすく、風水害や土砂災害の発生への備えが重要な時期となっています。

まずは、いざという時に正しい行動ができるよう、事前の準備や地域ごとに想定される災害状況を把握し、気象台が事象に応じて発表する「警報・注意報」にも注意しましょう。

「警報・注意報」では、本文の中で、どんな災害に警戒・注意すべきかを期間と共に記述します。テレビやラジオなどで発表を知った際は、気象台ホームページなどで内容を確認することが出来ます。

また、IP告知端末などから町が発表する避難情報にも留意してください。

災害へ備え、気象情報を上手に使うことで、気象災害から身を守りましょう。